

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第021号

令和3年9月17日(金)発行

新型コロナウイルスのまんえん防止は大変身近なものとなってきました。感染防止対策の徹底は、一人一人の協力が鍵を握っています。無観客開催となった体育祭や中止になった2学年PTA等もあり、川辺高校は注意深く行事を実施しています。現在のところ、授業に関しては、ほぼ通常通りの内容が実践されていますので、ご安心下さい。3年生は、これからが進路決定に向けた試練の時期が続きます。就職試験も始まりました。進学については、総合型選抜(旧AO入試)や学校推薦型選抜(旧推薦入試)等も始まりだしています。今後は、土日の模擬試験も続きます。覚悟して取り組んで下さい。1・2年生は、まずは、感染防止に努めながら色々と挑戦して下さい。

学年朝礼より

9月10日(金)

【1学年講話】 (上原先生)



電子黒板を用いてパワーポイントを使用したプレゼンで、「体育祭で得たものを次に活かす」ことをテーマに、具体的な例を示したとてもわかりやすい講話でした。

【2学年講話】 (郡山先生)



川辺高校に入学してよかったと思うためには、進路実現も重要だ。そのために今何をなすべきかの問いかけからはじまる講話でした。

【3学年講話】 (藏先生)



テーマは具体と抽象についてで、「ちゃんと朝ご飯食べました」「しっかりと勉強しました」と言うときの【ちゃんと】とか【しっかりと】ってどんな様子を示しているの?という質問から講話が始まりました。

川辺高校には、話の上手な先生がたくさんいます。それぞれの特徴を活かした先生方の講話は、生徒皆さんの心に響いていると思います。皆さんは、一つ一つのことを実践していくように挑戦して下さい。月一回ある学年朝礼では、今の皆さんに必要なことをテーマとした講話が設定されています。そのとき、そのときの自分の状況を的確に判断し、行動することと能力が重要だと思います。

川辺高校
令和三年九月十日
藏先生

3年生を激励する会

令和3年9月9日

『念ずれば、花開く』

この言葉は、熊本県出身の詩人、坂村真民(さかむら しんみん)という人の詩の一節に出てくる言葉で「念ずれば、花開く」これは、ただ念じていればとか、じっとお願いをしていけば夢がかなうという意味ではありません。この言葉の意味は、何事も一生懸命に祈るように努力をすれば、自ずから道は開けるとか、夢や目標がかなうという意味です。また、「念」という字を分解すると「今」と「心」になります。これは「目の前にある事を一生懸命やる」ということです。言葉を換えて言えば「実践」することです。「念」とは、「今の心」であり、「今、目の前にある事を一生懸命やること」を表しています。さらに「念じる」という言葉には「実践する」という意味があります。「念ずれば、花開く」という言葉の裏には、「今をたいせつにして生きないと、花は開かない」という意味があります。「今」をいい加減に生きると、次の瞬間もいい加減なものとなり、いい加減な生活しか送れないこととなります。これは、いつもどんな時も緊張して生活をするということではなくて、リラックスする時には、思い切りリラックスすることであり、「今」に、けじめをつけて生活することだと思います。

(校長激励のことばより前半部分を抜粋)



三密を避けるために体育館に集合しました。



校長・教頭・生徒代表



記念品のキーホルダー



キーホルダーは鞆に取り付けられます。

新看板設置のお知らせ



インターハイ出場決定と
令和2年度進路実績を示した看板(7月)



同窓会が学校を応援する看板(7月)



インターハイ(全国)3位を祝して設置(8月)
同窓会の御協力で、生徒の活躍をお知らせできる看板が続々と設置されています。

体育祭DVD(動画)についてお知らせ

先週末から、体育祭動画のDVDが各学級で視聴できるように貸し出しが始まっています。今回の動画は、主としてPCでの再生を想定して制作しております。一般のDVDプレーヤーでは未対応のものもあるかと思えます。視聴できない場合は、DVDプレーヤー対応のものも別に制作してあります。学校に連絡下さい。なお、この動画をSNSやYouTube等にアップロードは、厳に行わないようお願いいたします。